

天才アート KYOTO®



天才アートとは、障害のある人やひきこもり者などの多くがもっている優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的なアート作品に対して、NPO 法人 障害者芸術推進研究機構（天才アート KYOTO）が独自にネーミングしたものです。当機構は天才アートを推進し、その啓発・普及活動を積極的に行っています。



発行日 2023年12月25日（月）

発行者 特定非営利活動法人  
障害者芸術推進研究機構

**天才アート KYOTO**

発行所 〒603-8226  
京都市北区紫野西舟岡町2番地  
ふれあい共生館「きたアトリエ」  
info@tensai-art.kyoto  
<http://tensai-art.kyoto>

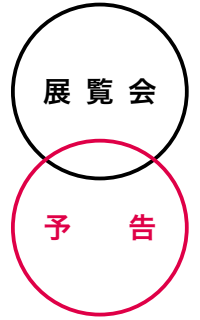
編集協力 株式会社 三六六

天才アート

検索



道家 大偉之 Doke Taishi 2001年生 『店先のかざり置物狸!!』 鉛筆・アクリル絵の具・画用紙 380×538mm 2023年制作



『青空美術館』16号・17号開催  
(予告)

『青空美術館』は、「街中にアートの彩り！」をとの趣意で、2013年7月に地下鉄くいな橋駅付近で第1号を開設しました。工事現場にアートの華やぎを与えて近隣の人や道行く人に好評を博し、施工主や建設会社とともに企業の協賛も得て現在15号まで継続して開設しています。

24年1月より、新たに16号、17号を開設します。いずれも設置場所は市内の中心部に位置し、通行する人や車両も多く、通りがかりの市民や観光客が気軽に作品を楽しむことができます。

16号会場：『五条公園上水道工事基地』

京都市下京区木屋町通五条上る

24年1月中旬〜25年12月頃 (予定)

17号会場：『京都中央信用金庫三条支店新築工事』

京都市中京区千本通三条南東角

24年1月中旬〜25年2月頃 (予定)

主催：NPO法人障害者芸術推進研究機構

協力：京都市上下水道局、京都中央信用金庫、

吉村建設工業

協賛：(株)SCENENホールディングス

なお、現在京都市内で開催中の『青空美

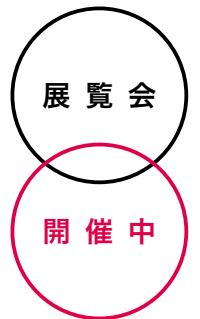
術館』は、13号『京都市立呉竹総合支援学校校舎建替工事 仮囲い』（京都市伏見区桃山福島大夫北町52 西側道路沿い）と15号『京都市立北総合支援学校 中央分校整備工事』（京都市下京区高辻通油小路東南角 元格致小学校フェンス）の2カ所です。



第15号 京都市立北総合支援学校 中央分校整備工事



第13号 京都市立呉竹総合支援学校 校舎建替工事



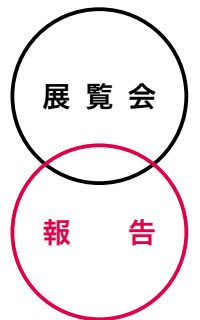
第8回『公共空間にアートの彩り』展開催中

青空美術館と同じく、街中にアートの彩り！をとの趣意で、京都一の繁華街四条通の地下通路に当機構の作品アーカイブをポスターパネルにし、50点を展示しています。今回で第8回目となりますが、無機質になりがちな地下通路にポップな雰囲気と華やぎを醸して毎回好評です。海外の観光客も多く、会期中は数十万人の通行者が見込まれ、SNS等で世界に発信されています。会期：23年11月9日(木)〜24年1月28日(日) 会場：四条通地下道（京都市下京区麩屋町 通付近）富小路通付近の間

主催：NPO法人障害者芸術推進研究機構  
協力：京都市あるくまち京都推進室・阪急電車助成（公財）京都オムロン地域協力基金



ポスターパネルを見ながら歩く人たち



第11回天才アーティスト展『OPEN STUDIOS 2023』開催



アトリエで作品を見る来場者(右)と制作中の作家

第11回天才アーティスト展「OPEN STUDIOS (オープンスタジオ) 2023」は、当機構拠点のきたアトリエを会場に開催しました。会場には、登録作家47人の240作品を一室に展示。アトリエ内では、作家の制作の様子と作品が同時に見られ、ギャラリートラヒとは異なる設営企画が好評でした。

来場者は278人と、例年よりは少なくなりましたが、時間をかけて作品を見られる方がたくさんおられました。特に来場者が制作中の作家に作品の質問をするなど、



作家と交流する来場者

「オープンスタジオ」ならではの対話や交流する姿がひんぱんに見られ、有意義な展覧会となりました。

会期 23年9月30日(土)～10月15日(日)、11時～17時、10月3日・10日休館

会場 当機構拠点「きたアトリエ」  
京都市北区紫野西舟岡町2

主催 NPO法人障害者芸術推進研究機構  
京都市 京都市教育委員会

後援 京都新聞 京都新聞社会福祉事業団  
京都市立総合支援学校長会

助成 北区民まちづくり提案支援事業  
公益財団法人大阪コミュニティ財団  
山口淑子友愛基金

協賛 洛和会ヘルスケアシステム  
特別協賛 (株)SCHEINホールディングス  
特別助成 一般財団法人NISSSHA財団  
第1回日本国際芸術祭連携事業



ポスターパネルや会報などが並んだ会場の様子

**第58回日本発達障害学会京都大会協賛 『天才アート展 at 京都教育大学』**

全国から研究者や学校関係者など、多数が参加した第58回日本発達障害学会京都大会に協賛し、「天才アート展 at 京都教育大学」を開催しました。

会場は、同大学学生会館内にあるカフェスペースで、ポスターパネル16点を展示しました。同展は、学会参加者のほか、大学在学生や一般市民にも公開され、多くの来場者がありました。

同学会の実行委員長である京都教育大学発達障害学科の小谷裕実教授は、「学会の休憩時間など、多くの参加者が作品パネルに囲まれて、癒しの時間を過ごしておられました」と話をされていました。

**『京都平和会議2023』会場展示**

京都平和会議は、京都大学研究員のジャンルカ・ボナンノ氏が代表のNPO法人IPSOの主催で、世界各地の参加者をオンラインで結び、隔年で開催されています。アートをはじめとする各地のさまざまな取組を通して、世界平和を希求する活動をさ



ポスターパネルの展示で華やかになったカフェスペースで寛ぐ学生の皆さん

会期：2023年11月4日(土)9時～17時  
5日(日)9時～15時

会場：京都教育大学学生会館内  
(京都市伏見区深草藤森町1)

主催：NPO法人障害者芸術推進研究機構  
協賛：日本発達障害学会第58回研究大会

れています。

今回、京都市内で展示中の青空美術館のパネルを見て「感動」されたボナンノ氏の招請により、原画作品や作品ポスターを会場に展示しました。展示作品はオンラインにて海外の参加者に紹介されました。

会期：23年10月29日(日)10時～16時  
会場：京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール

展示：原画作品と作品ポスターパネル  
主催：NPO法人IPSO



国際交流ホールに展示された原画作品とポスターパネル



京都大学百周年時計台記念館

TENSAI  
ART  
NOTE

天 オ  
ア ア  
ノ ノ  
ー ト

上田彩 Ueda Aya 1989年生

上田は、幼少期より身の回りの出来事や季節折々にある家庭や学校の行事などを好んで描いてきました。長じてもそのテーマは一貫して、今も、家庭や通所する事業所などでの季節の行事やレクリエーションをテーマに描き続けています。そして作品には、必ず本人や近い人を中心にして、大好きなパンダを擬人的にアレンジしたりするなど、独特の画風で絵日記を描くように制作します。彼女が生み出す絵画の世界には、平和で楽しく穏やかな時が流れています。

『(あじさい) アジサイ 紫陽花』 アクリル絵の具・色鉛筆・画用紙、H270×W380mm、2023年制作



nemuro

nemuro 1993年生まれ

nemuroは不規則な絵の具の広がりや、時にはコラージュを用いてできた形から見えたモチーフを縁取ることで描きます。

nemuroはアトリエで描く自身の作品について、「今その時感じたものの一瞬を切り取っている」と話します。鑑賞者はnemuro作品を見たとき、コラージュを用いたキャンバス上での素材の変化や腕全体の大きな動きで描かれた線などから、作品に内包された感情や思考を感じることができるかもしれません。

『祈りの窓』 キャンバス・アクリル絵の具・新聞紙、H910×W730mm、2023年制作



『にぎやかなはじまり』 画用紙・アクリル絵の具・ペン、H364×W515mm、2023年制作



『ひとりごと』 キャンバス・アクリル絵の具、ペン、H1,000×W805mm、2023年制作



『千羽鶴、千羽鶴おしゃれ、鶴のおりがみ』 ペン・色鉛筆・画用紙、H270×W380mm、2023年制作



『お風呂』 ペン・色鉛筆・画用紙、H270×W380mm、2023年制作

上田 彩



『ひょうごけんフラワーセンターのチューリップばたけ』 キャンバス・アクリル絵の具、H607×W728mm、2023年制作

ゆうだい

ゆうだい YUDAI 1998年生

ゆうだいはアクリルや色鉛筆を用いて風景を描きます。彼の描く絵画はどれも実際に訪れた場所や彼自身の思い出の一部です。どれも自分で撮影した写真を元に描かれていますが、写っていた人物や細部は省略されていたり、逆に雲などのモチーフが加わったりしています。

鮮やかな色を用いて描かれた作品は鑑賞者に写真とは違った印象を与え、どこか白昼夢へ誘われます。



『北アルプスと松川』 キャンバス・アクリル絵の具、H607×W730mm、2023年制作

ご家族さまより寄稿

# 思いのままに描き続けて

影山俊彦

## ●絵を描き初めたきっかけ

幼い頃、弘樹はよく動く子でこちらが追いつかないほど走りまわっていました。保育園の先生も困っていたのですが、ノートと鉛筆を渡すとなぜか落ち着いて自分でしつかり何かを描くようになりました。自閉にまつわる多動ということだったと思いますが、集中するとやり続けることは今も続いています。絵を描くということは、それだけ弘樹の興味のあることなんだと思います。

## ●オウムとインコ

弘樹が幼い頃から一番興味をもったのはオウムとインコでした。何が最初だったかわかりませんが、図鑑を見て20種類以上の名前が全て言えましたし、京都動物園には何度も通い、大きなベニコンゴウインコを



枚方まちかどアート

長い間見続けていました。ふれあい広場でキバタンを肩に乗せてもらった時の怖がりながらも喜んでいる姿は今でも目に浮かびます。遂には家で

も飼おうということになり、マリちゃん(コザクラインコ)とルルちゃん(ボタンインコ)は、我が家のカワイイ家族になりました。現在もインコを擬人化してさまざまなシーンを描くなど、弘樹のモチーフ的なものになっています。

## ●塔本先生との出会い

幼稚園年長の時に枚方に引越してきてまもなく、近くの塔本先生の教室に通わせていただくようになりました。

小学3年生から初めて油絵も習うようになり、親は何もわからず手探りでしたが、弘樹は臆することもなくどんどん自分の好きなものを描き続けていきました。塔本先生ご夫妻には本当に大きく優しく受け入れていただきました。細かなテクニックを教えるのではなく、「その子の好きなものを好きなタッチで描けばいい」というご指導方法はこだわりのある弘樹にはとてもありがたい、大変恵まれた環境だったと思います。そして初めての展示会出品。自分の作品が名前と共に展示されるのは率直にうれしかったでしょうし、周りの方から認められ、声を掛けていただいて誇らしかったと思います。もともと人との会話、接点が大好きな弘樹にとって、絵はこの頃から人とつながる一つの大事なコミュニケーションツールになっていったような気がします。

## ●漫画も音楽も家族も



御殿山美術センター

描く対象もどんどん広がっていきました。弟も大好きだったワンピース。ルフィもウソップもサンジもチョッパーも、こちらがびつくりするくらいあつという間に描くようになってきました。そして大好きでいつも聴いているクラシックの作曲家たち。シューベルト、モーツアルト、ショパンetc。ケテルビーって誰?という私の疑問はさておき(笑)、どんどん多くの肖像画的なものが増えていきました。外国から日本へ、山田耕筰、滝廉太郎の音楽家から福沢諭吉や野口英世、北里柴三郎といった昔の偉人にも発想が展開していったようです。

そして常に描いているのが家族です。私たち夫婦と弟の4人家族にとどまらず、親戚、祖父母、その前のご先祖様まで思いを馳せているようで、弘樹の描く家族は本当に大人数でつながりがいっぱいです。もちろん実際の祖父母も大好きで、実家に帰ることをいつも楽しみにしています。今は妻の母だけになりましたが、戻るとたくさん置いてあるアルバムを飽きることもなく見続けています。弘樹の中では一番近いつながりがある大事な人たちなのでしょう。

## ●これからも描き続けて

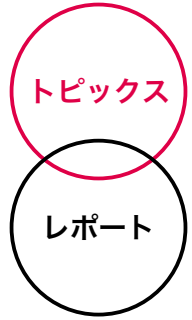
現在、弘樹は福祉工場に勤めながら、休日にはあちこち好きな所に出かけたり、YouTubeで好きな動画や音楽を視たり聴いたりする毎日です。そして大好きな絵は天才アートKYOTOと大阪の教室でお世話になりながら描き続けています。年を経る中で展示会にも多く出品してきましたし、5才の時には初の個展を開催することもできました。1月には京都伏見で久しぶりの個展も予定しており、活動を一つひとつ積み重ねています。

32才になった弘樹ですが、しつかり働く中で少しでも人のお役に立ち、日常の中で自分の楽しみや喜びをできるだけ多く見つけ、感じていつてほしいと願っています。その中でも絵は一つの大きな楽しみ。好きな人たちとつながるためにも描き続けてほしいと心より思います。

最後に  
なりまし  
たが、温  
かくご支  
援くだ  
さつてい  
る皆さま、  
本当にあ  
りがとう  
ございま  
す。お世  
話になつ  
てばかりで誠に恐縮ですが、引き続き何とぞよろしくお願いいたします。



キテミテ中之島2023



**作品販売の提携を始めました！**

当機構はこれまでに作品5千点を收藏しています。2020年より作品販売を始め、作家に収益を還元してきました。しかし自前での販売拡大にはノウハウなどの限界もあるため、市中のギャラリーや作品販売を仲介、あるいは代行する企業さま等との提携も始めています。

その第1弾として、障碍のある作家のアート作品を「福祉活動や障害者アート」という枠組みだけに当てはめず、その素晴らしいさを世界に広める」活動をする合同会社AmiAmi（本社京都市伏見区）さまと提携しました。同社は作品販売やそのサブスクのほか、より「手軽に作品を楽しめる」とのコンセプトで、作品アーカイブを活用し



大丸京都店で開催された『アートとともに社会に元気を届ける販売会をやります』

た複製画のサブスクも展開されています。

＜販売実績＞

『バスケット・イベント』

23年8月11日 BALLER'S 神戸店

『AmiAmi CANVAS展』

23年8月23日～26日

京都信用金庫 QUESTION 1階

『アートとともに社会に元気を届ける販売会をやります』

23年11月15日～21日

大丸京都店5階

詳細は同社 Web サイト

<https://www.amiami.shop>



**京都の匠の素材と宿泊施設をむすぶプロジェクト「コトノムスビ」に出展**

23年12月12日（火）・13日に（水）、左京区岡崎の京都市総合展示場「みやこめっせ」で開催された「コトノムスビ・プロジェクト」に出展しました。

このイベントは、京都市内の伝統産業などの特色ある「モノ」づくりや「コト」体験等を提供する企業や団体と、市内のホテル・旅館等の宿泊施設とのビジネスマッチング商談会を進めるプロジェクトです。本年は第2回目、7月にあつた募集に応募し、審査のうえ採択されました。

当日、みやこめっせ地下1階特設会場には、本年の採択企業・団体30社の多彩な製品や作品等の「モノ」、魅力的な体験プログラム等の「コト」、の展示が一堂に並び、参加者としてもたいへん魅力的でワクワクするような雰囲気でした。これに、世界有数のホテルチェーンや日本を代表するようなホテル・旅館60社のご担当者が来場され



会場の様子



天オアートKYOTOのブース

て、各ブースで商談が進められました。当機構は、所蔵する5千点を超える作品の販売やレンタル、アーカイブを活用した複製画のレンタルや土産用グッズへのデザイン採用等の提案を行いました。アート分野を希望する施設10数社のご来訪をいただき、ご要望に沿った提案をしました。1社の内定があり、ほかに数社にご検討をいただきましたことになりました。今後、具体化しましたら次号以降で報告します。

これまでの技術でつくるか、  
これからの技術をつくるか。



**村田機械株式会社** <https://www.muratec.jp>  
本社/京都市伏見区竹田向代町136

- ▶ ロジスティクスシステム
- ▶ ファクトリーオートメーション
- ▶ 半導体工場FAシステム
- ▶ 織維機械
- ▶ 工作機械
- ▶ シートメタル加工機
- ▶ デジタル複合機/情報機器
- ▶ 生産管理システム

## スコットランドと日本をつなぐ オンラインイベントを開催

2023年9月20日(水)18時(日本時間・現地とは時差が8時間)、スコットランドのアーティストを支援するネットワーキングプロジェクト「Culture Collective」と天才アートKYOTOをつないで、オンラインイベントを開催しました。

スコットランドや日本からの参加者に加え、遠くはタンザニアからも参加され、「自国では障碍を持つている方はあまりよく思われていないが、今回の発表内容に共感し、より良い社会になることを望んでいます」という声のほか、「感動した」「面白かった」と多くの反響がありました。

イベントの様子は、左に記載のURLやYouTubeでご覧いただけます。

https://www.culturecollective.scot/  
events/international-perspectives-4-  
tensai-art-kyoto/  
https://www.youtube.com/  
watch?v=FZB2oN41IZc&list=PL5s



イベントの様子はYouTubeでもご覧いただけます



## 企業・団体の助成、協賛の募集

当機構の運営予算の多くは、企業さまや団体さまの助成金や協賛金などによって支えられています。

NPO法人として2011年の活動開始以来、登録作家は15人から現在49人と大幅に増え、『天才アート展』や『青空美術館』などの各種展示事業、作品收藏と作品アーカイブ事業、『会報』発行などの広報事業等々幅広く取り組んでいます。

展示や協働事業などのオフアワーが年々増えてきており、画材費の高騰などとともに資金の確保が常に課題となっています。さらに多くに企業などのご助成やご協賛の支援をお願い申し上げます。

【特別協賛などの企業さま・団体さま】

株式会社SCREENホールディングスさま  
一般財団法人NISSHA財団さま

株式会社村田製作所さま

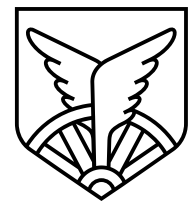
村田機械株式会社さま

〈編集後記〉

第11回天才アート展は、創作の現場を見ていただくという展示スタイルが好評ですが、交通アクセスの面や認知度の低さから、今回は従来以上に来場者が少なく、少々残念な結果となりました。次回は多くの皆さまにご覧いただけるよう、いろいろな工夫をしていきたいと思えます。

また、初めて海外のアーティスト支援組織とオンラインイベントを開催しました。貴重な機会を作っていただいたMegumi Berringtonさんにこの場を借りてお礼申し上げます。この経験を活かし、来年以降は積極的に国内外の団体やアーティストとの接点を増やし、活動の場を広げていきたいと思えます。

HAGURUMA



【表紙の作品について】

道家は、自身が訪れた場所で見つけた物や風景の写真を参考に描きます。モチーフは花であったり置物だったり、彼が面白いと感じた物が主です。道家の制作は、ひとつのモチーフに対して時間をかけて観察し、肉厚なタッチで慎重に描かれます。鑑賞者は細部まで描かれた道家作品を見たとき、彼の見ていた物とその感受性を追体験できるかもしれません。



道家大偉之 Doke Taishi  
2001年生  
『店先のかざり置物理!!』  
鉛筆・アクリル絵の具・画用紙 380x538mm 2023年制作

画材・額縁  
**画笈堂**  
京都・河原町五条

一級建築士事務所  
町家・古民家再生 / マンション改修  
**(株)共立ホーム  
エンジニアリング**  
06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

お客様に寄り添い、安心と安全をお届けします  
総合リスクコンサルタント  
**株式会社プラニ**  
☎ 075-353-2522

京都上鳥羽の印刷会社  
**MORITA**  
(有)森田美術印刷  
京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎ 075-692-3131

妙心寺 塔頭  
**養徳院**  
永代供養のお寺 075-461-2898

**Yo Shima**  
吉村建設工業(株)  
京都市中京区西ノ京小倉町135番地  
075-802-1360

**SCREEN**

一般財団法人  
**NISSHA財団**

夢、そして誇り。この街で…  
**洛和会ヘルスケアシステム®**  
洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院 洛和会音羽記念病院  
洛和会音羽リハビリテーション病院 洛和会東寺南病院